



**NISM** について

ネットワーク情報セキュリティマネージャー

平成17年3月17日  
NISM推進協議会事務局  
(社団法人電気通信事業者協会)

# 資料目次

1.	NISM資格講習制度とは	P 3 ~ P 6
2.	資格体系	P 7
	ネットワークセキュリティ基礎	} P 8 ~ P 13
	ネットワークセキュリティ実践	
	サーバセキュリティ実践	
	セキュリティ監視実践	
	セキュリティポリシー実践	
	セキュリティ監査実践	
	資格更新	P 14 ~ P 15
3.	受講状況	P 16
	(参考) 各種情報セキュリティ資格の比較	(参考) P 1 ~ P 2

# 1. NISM資格講習制度とは(1) 創設の経緯

## 創設の経緯

平成12年に郵政省(現総務省)が開催した「電気通信事業におけるサイバーテロ対策検討会」において、「情報セキュリティに関する専門家の育成が急務である」という内容の提言あり。  
NISM資格講習制度はこの提言を受けて民間資格として平成13年度に創設。

「ハッカーや不正アクセス、コンピュータウィルスなどから、情報通信ネットワークとその利用者を防御するための専門知識を持つ技術者の育成」を目的に、総務省のご協力のもと、NISM推進協議会が実施する人材育成プログラム。

【NISM推進協議会】(平成13年度に情報通信関係7団体で設立)

(社)電気通信事業者協会、情報通信ネットワーク産業協会、(社)テレコムサービス協会、  
(社)電波産業会、(社)日本インターネットプロバイダ協会、(財)日本データ通信協会、  
ネットワークセキュリティ登録事業者協議会(～平成16年度)(社)情報通信技術委員会(平成16年度～)

# 1. NISM資格講習制度とは(1) 創設の経緯(参考)

【電気通信事業におけるサイバーテロ対策検討会報告書の提言より抜粋】

## 第4節 情報セキュリティに関する専門家の育成

### 1. 電気通信事業者における情報セキュリティに関する専門家の育成

社内教育等の推進・・・外部の専門家等を活用して社内教育を充実  
学校教育の充実

### 2. 資格制度

電気通信主任技術者資格制度

- ・ 情報セキュリティに関わる能力を確認するための内容が含まれていない。

新たな資格制度の必要性

- ・ 一般第二種電気通信事業者には電気通信主任技術者の選任義務がないこと及び専門家に必要とされる能力は情報セキュリティに関するものであることから、総合的なネットワーク管理能力を求める電気通信主任技術者資格制度とは別に、情報セキュリティに特化した新たな資格制度を創設することも一案である。

【この年に発生した主な不正アクセス事案等】< 上記報告書より >

1. 中央官庁等のホームページが不正に書き換えられる事件が発生。(平成12年1月末～2月中旬)
2. 米国「Yahoo!」サイト等へのDos攻撃(平成12年2月7日/その後1週間の間)
  - 「Yahoo!」への接続が出来ない状態が数時間に渡って発生。原因はハッカーによるDDos攻撃による。
  - その後、「eベイ」「CNN」「アマゾン・ドット・コム」のサイトが同様の攻撃により被害。
3. コンピュータウイルスによる被害
  - 「VBS.LoveLetter.A」いわゆる「I Love You」ウイルス(平成12年5月4日に発見)
  - 「VBS.NewLove.A」いわゆる「New Love」ウイルス(同年5月18日に発見)
  - 「W32/MTX」(修復にHDDの初期化が必要なため、被害は深刻化)(同年6月に発見)

# 1 . N I S M 資格講習制度とは(2) 概要

## 受講資格 (条件)

「NISM推進協議会」を構成する団体に加盟する事業者に所属し、当該事業者が推薦する者。または、加盟はしていないが、上司または管理するものが推薦する者であってかつ「NISM推進協議会」が承認した者。

## 資格を取得 するには

「講習の受講」+「講習最終日に実施される認定試験に合格」

資格の有効期間は「2年間」 更新試験により更新可能。  
受講申込前に「レベルチェック」により、概ね受講レベルに到達しているか自己診断が可能。

## 資格体系

レベル(専門度合)の面から「総合スキル」と「専門スキル」に大別。

×

カテゴリ面から「セキュリティ技術」と「セキュリティ管理」に大別。



「ネットワークセキュリティ基礎」「ネットワークセキュリティ実践」  
「サーバセキュリティ実践」「セキュリティ監視実践」  
「セキュリティポリシー実践」「セキュリティ監査実践」  
の6コースで構成。(詳細は後述)

# 1. NISM資格講習制度とは(3) 特徴

## 講習内容

実習は実機を用いた実践的な講習内容。(セキュリティ技術系)ベンダーフリーの講習・資格のため、特定のベンダーの技術に縛られることなく、最新の必要な技術について学ぶことが可能。

## 資格の位置付け

民間資格。

(総務省のご指導・ご協力のもと創設された公共性の高い資格) ISMS取得時に有効。「セキュリティに関する有スキル者(有資格者数)」として計上可能。

自社内で「情報セキュリティ・アドミニストレータ」等の国家資格取得と同等に位置付けて社員を評価している企業あり。  
入札資格の一例としている地方自治体もあり。

## 活用モデル

サービス品質の向上。

- ・ 自社が提供しているセキュリティマネジメントサービスの提供レベルをチェックできる。
- ・ お客さま対応時における更なる信頼の獲得。
- ・ プロダクト資格に加えて、セキュリティに特化した資格を持ってお客さまと対応できる。
- ・ ヒューマン・ファイアウォールの構築。
- ・ NISMの有資格者が基本的な技術をしっかりと身につけ、それぞれのセクションで周りの人に技術を浸透させる。
- ・ セキュリティの常識を伝え広める。各職場で周りの人を啓発。

# 2 . 平成17年度 NISM資格体系 (予定)

## 総合スキル

IPやOS等の基本知識(事前確認のレベル)はあるものの、セキュリティに関する業務経験や関連知識が少ない方向向けのレベル。【NISM基礎コース】

基礎コースを修了、または修了と同等のレベルを有する方で、セキュリティシステムの構築を体験したい方向向けのレベル。【NISM資格コース】

## 専門スキル

NISM資格(ネットワークセキュリティ実践)認定者レベル、もしくはセキュリティシステムの構築体験がある方を対象に、より専門的なスキル(サーバ構築、セキュリティポリシー策定、セキュリティ運用、セキュリティ監査)の習得を目指す方のためのレベル。【NISM専門コース】

情報セキュリティ技術

**ネットワークセキュリティ基礎 <2日間>**  
(年間5回程度実施予定)  
【会員価格 63,000円】  
(一般は 69,300円)

ネットワークセキュリティ全般にわたる概要や動向・基礎知識などを修得するコース。

**ネットワークセキュリティ実践 <3日間>**  
(年間5回程度実施予定)  
【会員価格 157,500円】  
(一般は 173,250円)

自社のサイトを防御するため、ファイアウォール、VPN、認証、ワクチンソフトなどのサイトセキュリティに必要な道具の使いこなしと、多様化したハッキングからのサイトセキュリティを実現する方法を習得するコース。

受講生のニーズが増大している無線LANのセキュリティを講義+実習の形態で平成16年度から追加。

**サーバセキュリティ実践 <3日間> (＼2回＼)**  
【会員価格 168,000円】(一般は 184,800円)

サイト内の具体的なホストの安全性を高めることを追求する。各種OS(UNIX、Linux、Windows)を使用し、安全なMail、Web、DNSサーバなどの構築方法や、各々を構築する上でのポイントを習得するコース。

**セキュリティ監視実践 <3日間> (＼2回＼)**  
【会員価格 168,000円】(一般は 184,800円)

様々な犯罪事象を想定しつつ、ケーススタディを繰り返すコース。その中でどのような防御方法が適切であるのか、また日常の運用監視作業として、こういったものが望ましいのかを習得するコース。

高度なレベルが要求されるIDS設定やシステムログ解析を主な内容とする。

**セキュリティポリシー実践 <2日間> (＼2回＼)**

【会員価格 73,500円】(一般は 80,850円)

セキュリティポリシーの構築を目的としたコース。国際標準であるISO15408やBS7799規格の動向や解釈、構築の

**平成16年度新設**

**セキュリティ監査実践 <2日間> (＼2回＼)**  
【会員価格 73,500円】(一般は 80,850円)

情報セキュリティ監査制度の概要と、その中心的なガイドラインである情報セキュリティ管理基準と情報セキュリティ監査基準の構成を理解し、演習を通じて、その効果的な活用方法を把握する。

情報セキュリティ管理

価格は税込。

日程・講習会場等詳細はNISMホームページをご覧ください。【URL】 <http://www.nism.jp>

# ネットワークセキュリティ基礎

## 【研修のねらい】

情報セキュリティ全般の動向、および、必要な対策の基礎知識について習得します。

## 【研修実施概要】

レベル：基礎

前提知識：

TCP/IPプロトコルの基礎知識を有すること

日数：2日間

年間5回程度実施予定

人数：1クラス20名ほど

形態：講義

【会員価格 63,000円】  
（一般は 69,300円）

	1日目	2日目
午前	<h3>1. 情報セキュリティの概要</h3> <p>ー情報セキュリティ環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報セキュリティの事例動向</li><li>・セキュリティ関連法規の動向</li><li>・標準化の動向</li><li>・認証制度の動向</li></ul> <p>ー情報セキュリティ対策の概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・セキュリティポリシー</li><li>・情報資産の分類</li><li>・脅威と脆弱性</li><li>・リスク分析</li><li>・セキュリティ監査</li><li>・情報収集</li></ul>	<p>ー技術的セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ファイアウォール</li><li>・侵入検知システム（IDS）</li><li>・ホストのセキュリティ</li><li>・サーバのセキュリティ</li><li>・暗号化</li><li>・認証</li></ul>
午後	<h3>2. セキュリティ対策</h3> <p>ー人的セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・雇用の管理</li><li>・教育の必要性</li><li>・インシデント対応</li></ul> <p>ー物理的セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・区画の管理</li><li>・鍵の管理</li><li>・入退室の管理</li><li>・装置の管理</li><li>・媒体の管理</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・PKI</li><li>・VPN</li><li>・コンピュータウィルス対策</li><li>・無線LANセキュリティ</li></ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;">認定試験</div>

# ネットワークセキュリティ実践

## 【研修のねらい】

セキュアなネットワークを構築するためのファイアウォール、VPN、および無線LANセキュリティについて習得します。

## 【研修実施概要】

レベル：応用

前提知識：

ネットワークセキュリティ基礎コースを受講していること、または同等の知識を有すること。

日数：3日間

年間5回程度実施予定

人数：1クラス20名ほど

形態：講義・実習・演習

【会員価格 157,500円】  
（一般は 173,250円）

	1日目	2日目	3日目
午前	<p><b>1. ファイアウォール</b></p> <p>ーファイアウォールの構成と特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイアウォールの構成</li> <li>・パケットフィルタリング</li> <li>・サーキットレベルゲートウェイ</li> <li>・アプリケーションレベルゲートウェイ</li> <li>・ステートフルインスペクション</li> </ul>	<p><b>2. VPN</b></p> <p>ーVPNの構成と特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VPNの構成</li> <li>・L2TP</li> <li>・IPSec</li> <li>・MPLS</li> <li>・タグVLAN</li> </ul> <p>【実習・演習】 VPN構築</p>	<p><b>4. 無線LANのセキュリティ</b></p> <p>ー無線LANの構成と特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線LANの構成</li> <li>・無線LANの脆弱性</li> </ul> <p>ー無線LANのセキュリティ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ESS-ID</li> <li>・MACアドレス制限</li> <li>・暗号化</li> <li>・無線LANセキュリティの技術動向</li> </ul>
午後	<p>【実習・演習】 ファイアウォール構築</p>	<p><b>3. セキュリティ監査ツール</b></p> <p>ーセキュリティ監査ツールの構成と特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティ監査ツールの構成</li> <li>・侵入テストツール</li> <li>・ファイル監査ツール</li> <li>・パスワード解析ツール</li> </ul> <p>【実習・演習】 セキュリティ監査ツール</p>	<p>【実習・演習】 無線LANセキュリティ構築</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>認定試験</p> </div>

# サーバセキュリティ実践

## 【研修のねらい】

セキュアなWindowsサーバ、および、Linuxサーバを構築するための各種設定について習得します。

## 【研修実施概要】

レベル：専門

前提知識：

ネットワークセキュリティ基礎コースを受講していること、または同等の知識を有すること。

日数：3日間

年間2回程度実施予定

人数：1クラス20名ほど

形態：講義・実習・演習

【会員価格 168,000円】

（一般は 184,800円）

	1日目	2日目	3日目
午前	<b>1.セキュアなサーバの基本設定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- セキュアなサーバの基本設定概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバセキュリティ対策の基本</li> </ul> </li> <li>- 不要サービスの制限 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Windows系OSの設定</li> <li>・UNIX系OSの設定</li> </ul> </li> <li>- セキュリティパッチの入手と適用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Windows系OSのセキュリティパッチ</li> <li>・UNIX系OSのセキュリティパッチ</li> </ul> </li> <li>- セキュリティの情報源 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Windows系OSセキュリティの情報源</li> <li>・UNIX系OSセキュリティの情報源</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ネットワークの設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークサービスの制御</li> </ul> </li> <li>- ログिंगと監査証跡 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ログ解析の概要</li> <li>・ログ採取の設定</li> </ul> </li> </ul> <p>【実習・演習】 ネットワークサービスの設定とフィルタリングの設定 (Linux)</p>	<b>4.メールサーバのセキュリティ対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールの仕組みとセキュリティ上の問題点</li> <li>・セキュリティホール</li> <li>・不正中継対策</li> <li>・Pop before SmtP</li> <li>・暗号化メール</li> <li>・ウイルス対策</li> <li>・ログの監視</li> </ul> <p>【実習・演習】 メールサーバのセキュリティ対策 (Linux)</p>
午後	<b>2. OSの各種設定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ユーザの管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Windowsのユーザ管理</li> <li>・UNIXのユーザ管理</li> </ul> </li> <li>- アクセス権管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Windowsのアクセス権</li> <li>・UNIXのパーミッション</li> </ul> </li> </ul> <p>【実習・演習】 ユーザ管理/アクセス権管理 (Windows/Linux)</p>	<b>3. DNSサーバのセキュリティ対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーン転送禁止</li> <li>・アクセス制限</li> <li>・その他のセキュリティ対策</li> </ul> <p>【実習・演習】 DNSサーバのセキュリティ対策 (Linux)</p>	<b>5. WWWサーバのセキュリティ対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IISのセキュリティ</li> <li>・Apacheのセキュリティ</li> </ul> <p>【実習・演習】 WWWサーバのセキュリティ対策 (Windows/Linux)</p>

認定試験

# セキュリティ監視実践

## 【研修のねらい】

セキュアなネットワークを運用するためのネットワーク監視、IDS、および、セキュアなサーバを運用するためのログ解析について習得します。

## 【研修実施概要】

レベル：専門

前提知識：

ネットワークセキュリティ基礎コースを受講していること、または同等の知識を有すること。

日数：3日間

年間2回程度実施予定

人数：1クラス20名ほど

形態：講義・実習・演習

【会員価格 168,000円】

（一般は 184,800円）

	1日目	2日目	3日目
午前	<b>1. 不正アクセスの監視</b> -不正アクセスの監視項目 ・ネットワークの監視 ・ホストの監視 ・ログ管理  -不正アクセスの監視方法 ・不正アクセスの検出 ・アクセス監視 ・パケット監視 ・サービス監視 ・トラフィック監視	<b>2. 侵入検知システム (IDS)</b> -侵入検知手法とアクション ・不正検出 ・異常検出 ・侵入検知時のアクション -IDSの種類 ・ネットワーク型IDS ・ホスト型IDS ・代表的なIDS製品 -インシデントレスポンス ・インシデントの発見 ・被害状況の確認 ・要員の特定 ・システムの復旧 ・復旧後の対応	<b>3. システムログ解析</b> -Windowsのログ解析 ・監査設定 ・イベントビューア ・ログサーバの設定 ・サーバアプリケーションのログ -UNIXのログ解析 ・syslogの構成 ・syslogの設定 ・サーバアプリケーションのログ -ネットワーク機器のログ解析 ・ルータのログの構成 ・ルータのログの設定
午後	<b>【実習・演習】</b> ツールによるネットワークの監視	<b>【実習・演習】</b> IDSによる監視と防御	<b>【実習・演習】</b> システムログ解析 (Windows / UNIX / ルータ)  <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">             認定試験           </div>

# セキュリティポリシー実践

## 【研修のねらい】

情報セキュリティ標準化の動向とグローバルスタンダードの詳細、および、セキュリティポリシー策定について習得します。

## 【研修実施概要】

レベル：専門

前提知識：

ネットワークセキュリティ基礎コースを受講していること、または同等の知識を有すること。

日数：2日間

年間2回程度実施予定

人数：1クラス20名ほど

形態：講義・演習

【会員価格 73,500円】

（一般は 80,850円）

	1日目	2日目
午前	<p><b>1. 情報セキュリティの標準化動向</b></p> <p>ーグローバルスタンダードの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO17799</li> <li>・ISO15408</li> <li>・ISO13335</li> <li>・その他のガイドラインと業界標準</li> </ul> <p>ー評価・認定制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISMS適合性評価制度</li> <li>・ITセキュリティ評価認定制度</li> <li>・プライバシーマーク制度</li> </ul>	<p><b>3. セキュリティポリシーの策定</b></p> <p>ー情報セキュリティポリシーとリスクマネジメント</p> <p>ー基本ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリシー策定の流れ</li> <li>・ゴールイメージの確認</li> </ul> <p>ー詳細ポリシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリシー策定の流れ</li> <li>・リスクの識別</li> <li>・リスク評価</li> </ul>
午後	<p><b>2. グローバルスタンダード詳細</b></p> <p>ーISO/IEC17799情報セキュリティ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ管理</li> <li>・リスクの明確化と対策の視点</li> <li>・詳細管理策の構成</li> </ul> <p>ーISO/IEC15408セキュリティ評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ITセキュリティ評価とは</li> <li>・規格に基づいた設計の流れ</li> <li>・評価保証レベルの対応</li> <li>・Part1の考え方</li> <li>・Part2の考え方</li> <li>・Part3の考え方</li> </ul>	<p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報資産の洗い出し</li> <li>・リスク評価</li> <li>・セキュリティポリシー策定</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>認定試験</p> </div>

# セキュリティ監査実践

## 【研修のねらい】

情報セキュリティ監査制度の概要、情報セキュリティ管理基準の詳細、および、情報セキュリティ監査の実際について習得します。

## 【研修実施概要】

レベル：専門

前提知識：

ネットワークセキュリティ基礎コースを受講していること、または同等の知識を有すること。

日数：2日間

年間2回程度実施予定

人数：1クラス20名ほど

形態：講義・演習

【会員価格 73,500円】  
（一般は 80,850円）

	1日目	2日目
午前	<b>1. 情報セキュリティ監査制度の概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度創設の背景</li> <li>・監査の対象と視点</li> <li>・情報セキュリティ監査の位置付け</li> <li>・情報セキュリティ監査の基準</li> </ul>	<b>5. 情報セキュリティ監査手順</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備/計画</li> <li>・調達</li> <li>・実施</li> <li>・改善/公開</li> </ul>
	<b>2. 情報セキュリティ管理基準の詳細</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理基準の構成</li> <li>・管理策</li> </ul>	<b>6. 情報セキュリティ監査基準と監査の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査人の要件</li> <li>・保証型監査と助言型監査</li> <li>・監査計画の立案</li> <li>・監査の実施</li> <li>・監査報告書</li> </ul>
午後	<b>3. 技術的検証</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術的検証の手法</li> <li>・検証ポイント</li> </ul>	
	<b>4. ISMS構築とリスクアセスメント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクアセスメントの必要性</li> <li>・定量的分析と定性的分析</li> <li>・GMITSによる4つの手法</li> <li>・情報資産の評価</li> <li>・脅威と脆弱性の評価</li> <li>・リスク値の算出</li> <li>・リスク対応とリスク受容</li> <li>・リスクと対応コスト</li> <li>・個別管理基準策定の流れ</li> </ul>	<b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ監査</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <b>認定試験</b> </div>

# 資格更新 < 内容 >

## 【研修のねらい】

資格更新の方を対象に、セキュリティの最新動向を中心に課題試験を行います。課題の提出により認定試験を行い、その試験に合格することにより、資格の更新となります。

## 【研修実施概要】

対象者： 資格を取得し、2年以上経過された方。

(平成15年度に資格を取得された方)

実施方法：課題試験郵送、返送、添削

郵送内容：課題試験、推奨書籍の案内

料金： 次ページ

「ネットワークセキュリティ基礎」と「ネットワークセキュリティ実践」の更新については、これまで半日間の集合研修としていたが、交通費用や更新費用の個人負担の軽減を考慮し、平成17年度からの更新試験はすべて「課題郵送」で実施する。

## 「ネットワークセキュリティ基礎」テーマ

NISM講習復習 最新セキュリティ動向

## 「ネットワークセキュリティ実践」テーマ

NISM講習復習  
最新のセキュリティ動向

- ・セキュリティインシデント紹介
- ・コンピュータウィルスの動向
- ・標準化動向
- ・関連法規概要

## 「サーバセキュリティ実践」テーマ

NISM講習復習  
最新のセキュリティ動向

- ・オペレーティングシステムの動向
- ・セキュリティホールの動向
- ・セキュリティ対策の動向
- ・サーバアプリケーションの動向

## 「セキュリティ監視実践」テーマ

NISM講習復習  
最新のセキュリティ動向

- ・不正アクセスの動向
- ・セキュリティインシデントの動向
- ・セキュリティ監視の動向
- ・IDSシステムの動向

## 「セキュリティポリシー実践」テーマ

NISM講習復習  
最新のセキュリティ動向

- ・グローバルスタンダードの動向
- ・評価/認証制度の動向
- ・セキュリティ関連法規の動向
- ・セキュリティポリシー策定の動向

## 「セキュリティ監査実践」テーマ

NISM講習復習  
最新のセキュリティ動向

- ・グローバルスタンダードの動向
- ・評価/認証制度の動向
- ・セキュリティ関連法規の動向
- ・セキュリティポリシー策定の動向

「セキュリティ監査実践」については、平成16年度新設のため、単独での更新対象ではないが、同時更新による受験は可能。

# 資格更新 < 費用体系 >

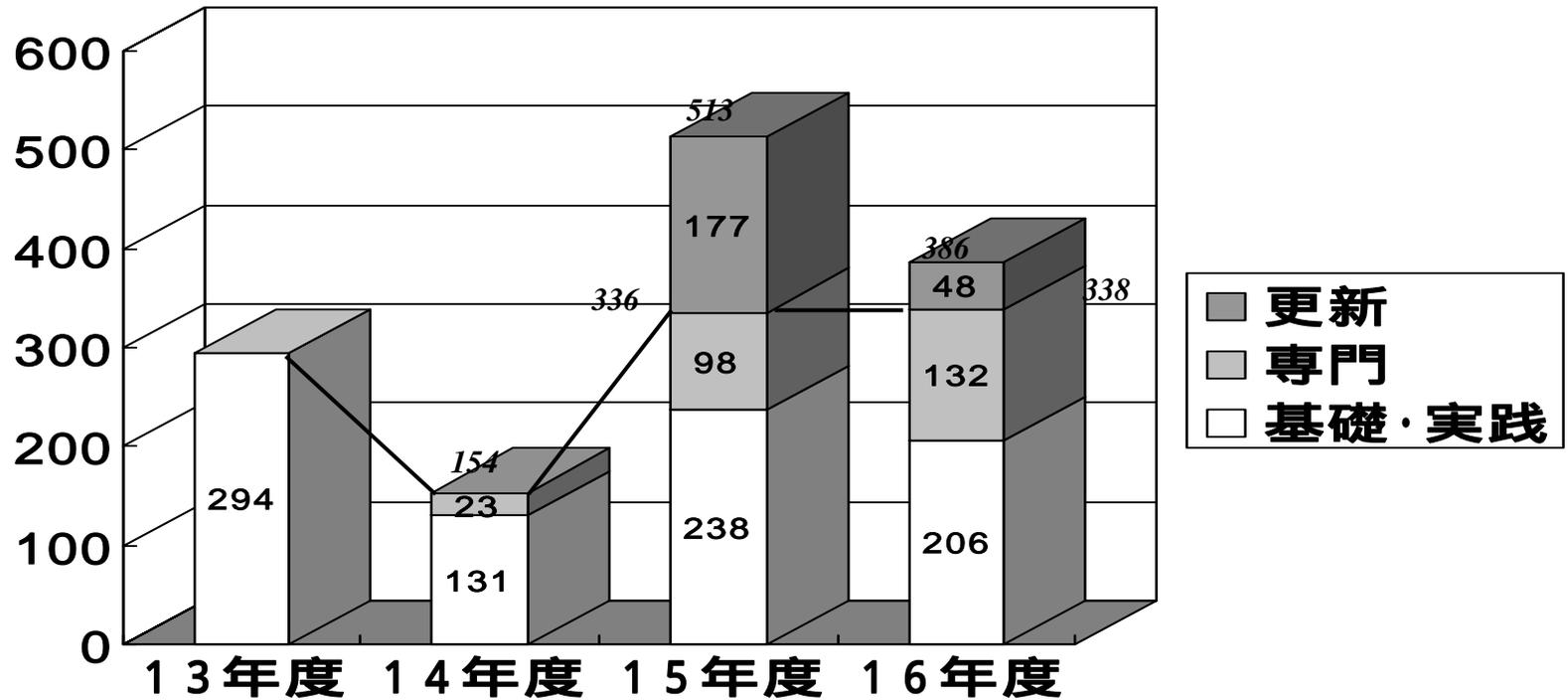
費用内訳		
	申請費	試験
		共通課題
		科目別課題
基礎	12600円 (1科目の受験でも 複数の受験でも 一律この金額のみ です。)	-
実践		各3150円
サーハ		同時に複数科目を受験の 場合の <b>1科目単価</b> ( 1科目 3150円 ) ( 2科目 3045円 ) ( 3科目 2835円 ) ( 4科目 2625円 ) ( 5科目 2415円 )
監視		
ホリシ-		
監査		

合計費用		
基礎のみの場合	12600円	
科目別課題	1科目の場合	15750円
	2科目の場合	18690円
	3科目の場合	21105円
	4科目の場合	23100円
	5科目の場合	24675円

会員価格・一般価格とも同額

平成17年度は「年間3回程度」資格更新の募集を行う予定。

### 3 . 資格取得者数の推移（平成13～16年度）等



年度	受講者数					資格取得者数					年度末有効ID数(概数)
	新規	基礎・実践	専門	更新	計	新規	基礎・実践	専門	更新	計	
H13	295	295	-	-	295	294	294	-	-	294	294
H14	154	131	23	-	154	154	131	23	-	154	448
H15	339	240	99	177	516	336	238	98	177	513	667
H16	340	206	134	48	388	338	206	132	48	386	899
合計	1,128	872	256	225	1,353	1,122	869	253	225	1,347	-